

製品名: CK19(11F5)マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM08856**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、pH 7.4、0.5% 保護タンパク質、防腐剤として 0.02% 新型防腐剤 N、50% グリセロールを含有。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:500, ICC/IF 1:100-1:500
分子量	44kDa

抗原情報

遺伝子名	KRT19
別名	KRT19; Keratin, type I cytoskeletal 19; Cytokeratin-19; CK-19; Keratin-19; K19
遺伝子 ID	3880.0
SwissProt ID	P08727
免疫原	CK19 の合成ペプチド

背景

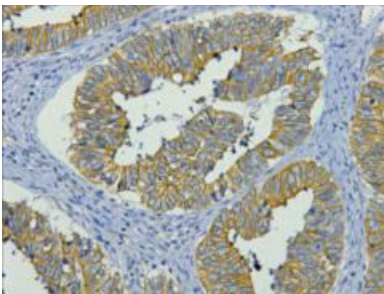
この遺伝子によってコードされるタンパク質はケラチンファミリーに属します。ケラチンは上皮細胞の構造的完全性を担う中間径

フィラメントタンパク質であり、サイトケラチンと毛髪ケラチンに分類されます。I型サイトケラチンは、異型ケラチン鎖が対になって配列した酸性タンパク質で構成されています。この既知の最小の酸性サイトケラチンは、類似のファミリーメンバーとは異なり、上皮細胞において塩基性サイトケラチンと対になっていません。これは、発達中の表皮を包む一時的に表面に位置する層である周皮層で特異的に発現します。I型サイトケラチンは、染色体 17q12-q21 の領域に密集しています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]、発生段階：毛包のあらゆる発生段階に存在します。、ドメイン：このケラチンは、C 末端ドメインを欠いている点で他のすべての IF タンパク質と異なります。、機能：筋線維の組織化に関与しています。KRT8 と共に、横紋筋のコスタメアで収縮装置をジストロフィンに連結するのに役立ちます。、その他：細胞骨格ケラチンとマイクロフィブリルケラチンには、I (酸性、40~55 kDa) と II (中性~塩基性、56~70 kDa) の 2 種類があります。、類似性：中間径フィラメントファミリーに属します。、サブユニット：2 つのタイプ I ケラチンと 2 つのタイプ II ケラチンからなるヘテロ四量体です。PNN および DMD のアクチン結合ドメインと相互作用します。HCV コアタンパク質と相互作用する。、組織特異性：毛包の深部外毛根鞘にある基底ケラチノサイトの特定の領域で発現する。また、汗腺および乳腺の管状および分泌細胞、胆管、消化管、膀胱尿路上皮、口腔上皮、食道、外頸管上皮 (タンパク質レベル) にも発現が認められる。表皮基底細胞、乳頭表皮、および毛包の特定の領域にも発現する。さらに、ヒト臍帯の静脈と動脈の両方の血管壁細胞の一部、および臍帯血管平滑筋にも発現が認められる。ジストロフィンおよびスペクトリンを含む構造において、筋形質膜のコスタメアに集積する筋線維にも発現が認められる。、

研究分野

シグナル伝達

画像データ



1:200 に希釈したヒト大腸癌組織の IHC 染色。